

# 乗入口(参考図)

R4.4.1更新

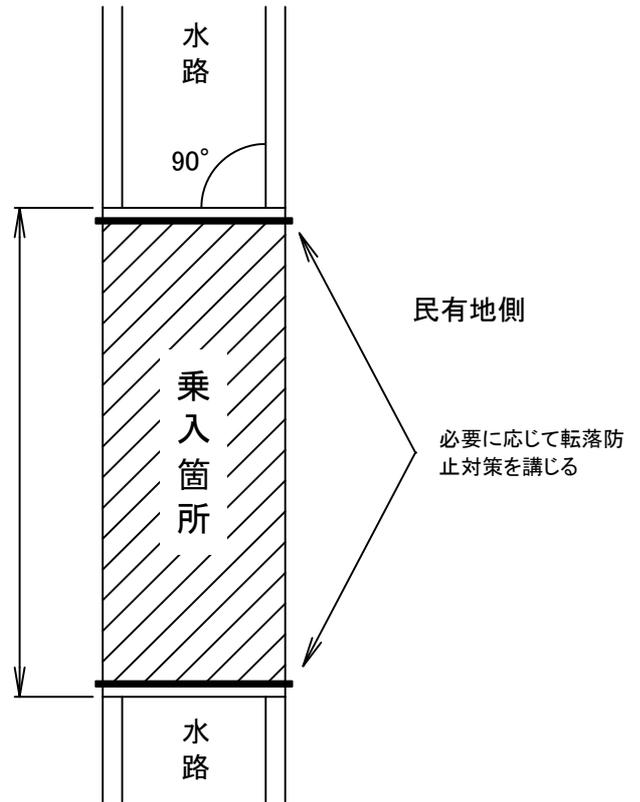
## 平面図

乗入れ箇所を床版構造とする場合「T-14以上」を原則とする。ただし営業用等の場合で不特定重車両の進入が想定される場合はこれによらない。

水路本体に直接荷重がかからない構造にすること。

車道側

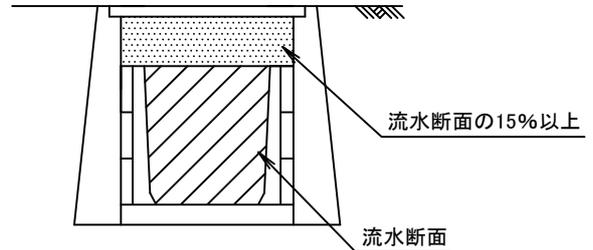
原則5m以内  
(ただし業務等で5m以上  
必要な場合理由書添付)



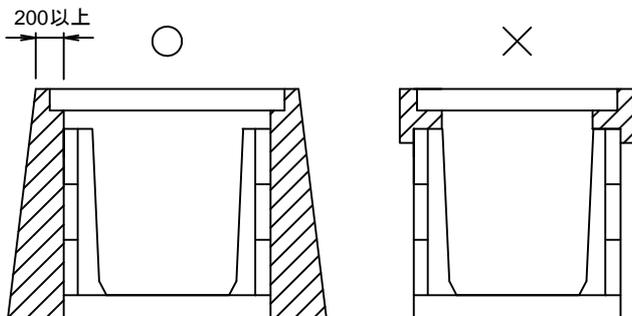
## 断面図

流水断面の15%以上を流水断面上空に確保すること。これによりがたい場合は別途協議すること。また、改修計画がある場合はこれによること。

連続する暗渠部では余裕高は考慮しなくてよいが、現況水路断面は確実に確保すること。

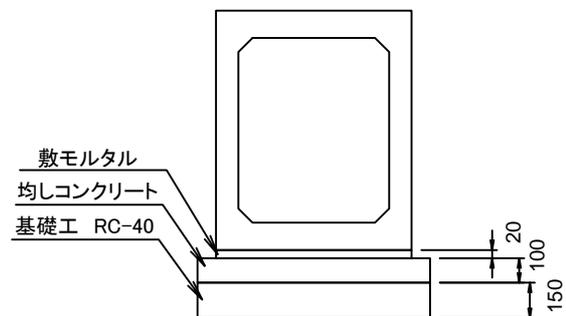


## ※乗入れ構造参考図



水路本体に直接荷重がかからないようにすること

ボックスカルバート(例)



PU3型(例)

